

令和元年度 中央図書館及び氷川図書館利用者懇談会

日 時：令和2年2月15日（土）14：00～15：00

会 場：氷川図書館視聴覚室

出席者：中央図書館職員（5名）、氷川図書館職員（3名）、利用者（7名）

- 1 開会のあいさつ
- 2 説明 「図書館における障がい者サービスについて」
- 3 懇談会
テーマ：図書館における障がい者サービスについて

当日出された意見・要望

図書館の障がい者サービスの現状を事務局が説明し、利用者から順に意見や要望を聴いていきました。利用者それぞれの立場からの話がありました。

①館内環境・施設面について

- ・男子トイレ、女子トイレともに使いづらく、多目的トイレを使用しています。多目的トイレは身体障がい者が使うイメージがあるようで使いづらいです。
- ・多目的トイレの普及を進めてほしいです。
- ・多目的トイレが無いと困ります。外出先に有るか無いか、大事な要件です。利用者の実態に合わせて多目的トイレの数を増やしてほしいです。有るか無いか分からないと外出する際に朝から水分を控えることがあります。
- ・館内で利用者席や棚の間隔が狭く移動に困難を感じる場合があります。
- ・利用者の方が障壁になって通れないことがあります。もちろん声を掛ければ皆さん避けてくれますが、見たい雑誌や本があっても遠慮してしまいます。
- ・棚の高い場所に本があっても、実際に読んでみたいと思っても、スタッフに声がかげづらい。遠慮してしまいます。
- ・図書館によっては入口のスロープ部分が急で自分だけでは登れません。図書館スタッフにサポートしてもらいます。
- ・入口付近にインターホンなど設置してもらえればスタッフの方も対応しやすいのではと思います。

②障がい者サービスについて

- ・対面朗読について手帳が無いと利用できないのはもったいないと感じるときがあります。
- ・対面朗読について利用できる時間を増やしてもらえると助かる。
- ・知的障害の方にも何かできることは無いか考えています。

③新中央図書館について

- ・移転しても現中央図書館の場所に予約の受取窓口、返却ポストを置くなど図書館機能の一部を残せないかなと思っています。
- ・対面朗読室は利用人数を踏まえてつくってほしいです。
- ・朗読室は防音設備がある方がお互い気を遣わずにすみます。

④その他

- ・リクエストカードのようなもので、読みたい本を 4~5 冊をまとめてタイトルや著者をみられるものがあれば、まずはゆっくり自分で見た上で決められるので良いのではと思います。
- ・対面朗読で図書館サポーターが急な体調不良で欠席したときは、図書館スタッフで穴埋めをしてもらえると嬉しいです。
- ・利用者とサポーターとの仲立ちをもっとスムーズに行えるようになると良いと思います。
- ・対面朗読の利用者は昔に比べると減っている印象です。